

第6回 北海道大学 映像・現代文化論学会大会

～プログラム～

◎日程 2022年11月19日(土) 11時～17時30分
◎方式 オンライン開催(事前登録制)
◎主催 北海道大学大学院文学研究院 映像・現代文化論研究室

・開会の辞

総合司会 中村 三春
応 雄

○研究発表

宮澤賢治「真空溶媒」試論 —— 幻想の重層構造と独白・対話の文体を中心に ——

修士課程 何 洪叡
司会 博士後期課程 中村 建

— 昼食休憩 — *13時再開

安部公房の都市 —— 『燃えつきた地図』『箱男』を中心に ——

修士課程 李 楚妍
司会 修士課程 高橋 捺津

演じることと見ること

—— ジョン・カサヴェテス『ハズバンズ』における俳優演技と観客の映画経験 ——

博士後期課程 堅田 諒
司会 博士後期課程 三浦 光彦

映画におけるスプリット・スクリーンの歴史と特性

修士課程 李 良坤
司会 博士後期課程 崔 文婕

○講演 *15時40分より

講師紹介 押野 武志

高畑勲『火垂るの墓』における地域表象

甲南女子大学教授 横濱 雄二

・閉会の辞

阿部 嘉昭

(肩書の記載のないものは、映像・現代文化論研究室教員)